

公益社団法人出水郡医師会 令和6年度 第10回定例理事会議事録

開催日時：令和7年1月14日（火）19:30～20:45

開催場所：出水郡医師会会議室

理事現在数及び定足数：現在数11名、定足数11名

出席者：理事10名

[本人出席] 來仙隆洋、黒木康文、中村直英、朝倉孝弘、永松省三、新富義侯、
辺木文平、吉井治美、内匠拓朗、原 善根

[監事出席] 塚里孝和

[事務部] 尾上博美、新藏光明

議 事：

〈報告事項〉

1. 出水総合医療センター地域医療支援病院運営委員会(12/5)
2. 鹿児島県医師会代議員・役員合同懇談会(12/7)
3. 令和6年度阿久根市老人ホーム入所判定委員会(12/11)
4. 令和6年度第1回北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議(12/16)
5. 第3回出水市こども施策推進会議(12/20)
6. 国保水俣市立総合医療センター地域医療支援病院運営委員会(12/20)
7. 阿久根市要保護児童対策地域協議会代表者会議(12/25)
8. 准看護学校
9. 附属阿久根看護学校
10. 広域医療センター
11. 第二病院
12. 各支部報告
13. 県理事報告
14. その他

〈承認事項〉

1. 共催・後援依頼について
2. 令和7年度出水市立・長島町立学校及び幼稚園等の学校医・園医等の推薦について
3. 医師会ホームページについて
4. 令和7年度出水市母子健診計画の医師推薦について
5. その他

〈協議事項〉

1. 令和6年度中間決算報告について
2. 令和7年度公益社団法人出水郡医師会事業計画（案）について
3. 令和6年度公益社団法人出水郡医師会一次補正予算（案）について
4. 令和6年度後期高齢者の適正服薬支援事業に係る調査への御協力について
5. 2月・3月の理事会開催日について
6. 川薩保健所感染症診査協議会（結核部会）委員の推薦について
7. 次期（2026年度）診療報酬改定にかかる要望事項等について
8. その他

添付資料

資料1 広域医療センター運営状況報告

資料2 第二病院理事会報告

資料3 令和7年度出水市立・長島町立学校及び幼稚園等の学校医・園医等の推薦

資料4 令和7年度出水市母子健診計画の医師推薦

資料5 令和6年度後期高齢者の適正服薬支援事業に係る調査への御協力

資料6 次期（2026年度）診療報酬改定にかかる要望事項等

別添資料

令和6年度中間決算報告

《報告事項》

1. 出水総合医療センター地域医療支援病院運営委員会

中村副会長

令和6年12月5日(木)出水総合医療センターで開催された。

議題

1) 紹介・逆紹介率の推移について

紹介率は昨年が65.5%から76.1%へ上昇。逆紹介率は、105.1%から121.9%へ上昇したが、実際、紹介患者数は変わらないが初診患者数が減っている為、上昇している。

2) 高額医療機器共同利用の実績について

3) 救急患者取扱件数について

4) 出水総合医療センター開放型病床登録医療機関の名簿

5) 初期臨床研修医（地域医療）受入状況について

6) 市民交流事業及び広報活動について

7) 出水圏域地域リハビリテーション広域支援センター活動について

8) 出水地域脳卒中ネットワーク研究会について

出水保健所の岩松先生から出水市内の会社から出水市内に労災保険健康診断等給付指定医療機関が無くて困っているということを耳にした。今後出水総合医療センターでは指定を受けられる予定はあるかと質問があり、花田院長よりハードルが高い部分はあるが今後取得をして対応させていただきないと回答があった。

2. 鹿児島県医師会代議員・役員合同懇談会

來仙会長

令和6年12月7日(土)城山ホテル鹿児島で開催された。

報告

1) 地域医療の現状と新たな地域医療構想について

地域の医療と介護の必要度が人口減少と共に下がってくるが、高齢者はまだ数年間は今の状況で医療・介護が必要である。ただ、外来の受診に関しては、数が減ってきて、在宅医療の看取りがかなり増えてきて、かかりつけ医を中心に頑張っていかなければいけないということが、今後の地域医療構想のテーマになっていく。

特別講演会

「医政活動の重要性」 講師：日本医師会 副会長 釜范敏先生

各種表彰受賞祝賀会

3. 令和6年度阿久根市老人ホーム入所判定委員会

原理事

令和6年12月11日(水)阿久根市役所で開催され、Zoomで参加した。

12件の養護老人ホーム入所審査があり、全員待機登録となりました。

現在、30名ほどの待機がいて、最大1・2年待ちの可能性がある。

4. 令和 6 年度第 1 回北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議 来仙会長

令和 6 年 12 月 16 日(月)川薩保健所 2 階大会議室で開催された。

議事

1) 報告事項

ア 令和 5 年度第 3 回地域医療構想調整会議の開催結果について

イ 令和 6 年度第 1 回各保健医療圏病床機能別専門部会合同部会の協議結果について

2) 協議事項

ア 病床機能転換意向のある医療機関について

出水地区からは手挙げは無かった。2025 年広域医療センターより急性期医療の部分の削減について提案がされる予定である。

イ 令和 6 年度地域医療介護総合確保基金事業補助金（病床機能再編支援事業）の活用について

3) その他

5. 第 3 回出水市こども施策推進会議

永松理事

令和 6 年 12 月 20 日(金)出水市役所 4 階大会議室で開催された。

議事

1) 出水市こども計画（素案）について

こども家庭庁の施策を各地方自治体がたたき台を作つて、こどもが何人生まれる・何人保育園に行く・それなら保育園が何カ所必要かとかいうのを話し合っていく会議である。

出水市の待機児童は、ほとんどいない。こども園の制度が出来て受け入れ易くなり、公立の幼稚園は、定員の半分位になっている。こどもを増やすということでいうと過去 10 年で子どもの数も 200 名程減っている。そこをどうにかしないとなる。そういうデータを入れて各団体の意見を入れて計画を作成していく。

6. 国保水俣市立総合医療センター地域医療支援病院運営委員会

中村副会長

令和 6 年 12 月 20 日(金)国保水俣市立総合医療センターで開催され、Zoom で参加した。

議題

1) 令和 6 年度 10 月現在 患者受入状況実績〔患者紹介率及び逆紹介率を含む〕について 紹介率 68.2%、逆紹介率 161.6% (10 月末現在、昨年と変わりなし)

2) 令和 6 年度 10 月現在 施設開放状況実績について

3) 令和 6 年度 10 月現在 救急医療の提供状況実績について

4) 令和 6 年度 10 月現在 研修会開催計画 実績・見込み

出水からの紹介件数が 1,400 名位/年、逆紹介件数が 1,000 名位/年

水俣は、倍くらいで、葦北は、同じ位である。

7. 阿久根市要保護児童対策地域協議会代表者会議

原理事

令和 6 年 12 月 25 日(水)阿久根市役所で開催され、Zoom で参加した。

運営状況の説明がありました。令和 6 年度は要保護児童 2 名、特定妊婦 2 名、要支援児童 27 名の計 31 名が登録ケースとして挙げられており、その内、12 名が終結ケースとなっていました。

最近の傾向として、児童虐待が増加しているとのことでしたが、各機関の連携が進み、児童虐待を発見できるケースが増えているためとのことでした。早期発見、早期対応のため、疑いのあるケースをみた場合、児童相談所等へのご報告をお願いします。

8. 準看護学校

新富理事

1) 臨地実習評価点について

1年生基礎看護実習Ⅰの評価点：1名のみ及第点に達していない。

(提出期限遅れで8割評価となった為)

(基礎Ⅱとの平均が60点以上あれば合格)

2年生臨地実習の評価点：10名全員、合格。

2) 進学について

1月16日(木)附属阿久根看護学校一般入試：3名受験予定(願書提出済み)

《今後の予定》

1) 2月1日(土)：一般入試 二次試験予定(出願期間：1/15～27)

2) 2月6日(木)：運営委員会(卒業判定会議・新年度の計画について)

学生数(令和7年1月6日現在)

	1年生	2年生	合計
学生数	8名	10名	18名

9. 附属阿久根看護学校

内匠理事

1) R6.12月

12月16日(月) 卒業試験

12月21日(土) 1年生 冬休み(1/5まで)

12月23日(月) 2年生 冬休み(1/6まで)

12月23日(月) 3年生 冬休み(1/5まで)

2) 今後の予定について

1月14日(火) 基礎実習開始(29日終了)

1月16日(木) 一般入学試験

1月27日(月) 第3回運営・卒業・入試判定会議

1月29日(水) 一般入学試験合格発表日

2月16日(日) 第114回看護師国家試験 福岡市内

受験人数 11名(3年生8名、卒業生3名)

2月28日(金) 令和6年度講師会議

3月4日(火) 卒業式 広域医療センター 4階大ホール 14:00～

3月24日(月) 看護師国家試験合格発表日 午後2時より

3) 学生の状況(1月4日時点)

	1年生	2年生	3年生	合計
学生数	15名	11名 (内 休学者1名)	9名 (内 科目履修生1名)	35名 (内 休学者1名) (内 科目履修生1名)

10. 広域医療センター

内匠理事

別添〔資料1〕参照

1) 12月の状況について

外来患者平均152人/日、入院患者については、一般病棟平均108人/日、回復リハ病棟平均28人/日、地域包括ケア病棟平均20人/日、緩和ケア病棟平均6人/日の合計162人/日で前月より4名減、手術件数101件で前月より10件減であつ

た。

12月の診療実績は、外来85,948千円（前年対比107.2%）、入院298,065千円（前年対比104.5%）で、合計384,001千円（前年対比105.1%）となり前月約11,000千円の增收であった。

特別・個室利用状況は62.9%の利用率であった。

また、急性期一般入院基本料2の要件

- ・平均在院日数14.2日（21日以内）
- ・重症度、医療・看護必要度26.6%（21%以上）

11. 第二病院

朝倉理事

別添[資料2]参照

12月の平均患者数は、医療病棟51.0人（稼働率89.5%）、介護医療院67.9人（稼働率97.0%）になっており、全患者数は118.9人（稼働率93.6%）で推移した。

また、延べ患者数は医療病棟で1,580人（前月対比98.9%）、介護医療院で2,105人（前月対比104.3%）になった。

診療報酬は、概算で医療病棟で35,774千円、介護医療院で約37,698千円、合計73,472千円（前月対比101.8%）であった。

前月に続き1日あたりの平均患者数が減少した。12月は前月より診療実日数が1日多いにもかかわらず、3F医療病棟は延べ患者数が前月の数に達しない病床運営となった。一人一日平均単価が介護医療院より高い医療病棟がこのような状況であったため、診療介護報酬の総計も73,472千円となった。

12. 各支部報告

山本理事
原理事

出水支部：支部合同忘年会の為、開催されなかった。

阿久根・
長島支部：支部合同忘年会の為、開催されなかった。

13. 県理事報告

黒木県理事

1) 個別指導

検査結果（画像等）・在宅医療などのデータをカルテに記載すること。

検査根拠の記載も忘れずに行う。

病名の整理をすること（類似疾患の整理）。

非常勤医師の届け出。

実費負担の院内掲示をする。

加算に関するカルテ記載をする。

2) 学校保健委員会

学校医の負担軽減のため検診を2年に一回にするなど検討を始める。

（1・3・6年生におこなう）

（症状のあるものだけ行う）等

3) 医事紛争連絡協議会

産婦人科での受精卵移植など手技ミスでの有責が増えている。

（7人に1人が人工授精）

4) 母子保健

県内で3名の妊婦が死亡されている。

ハイリスクではあったが全国で40人の死亡であるので率としては8倍

5) 生涯教育

医師会ホームページにかかりつけ医普及啓発の動画を掲載し単位が取れる体制を構築予定。

14. その他

1) 会員の異動について（令和7年4月1日付）

氏名	会員種別	支部	医療機関	異動内容
みすみ 三角 芳文	B1	阿久根・長島支部	平尾診療所	A会員より B1 会員へ

《承認事項》

1. 共催・後援依頼について

○ 出水郡学術講演会

日程	令和6年3月17日（月）19:00～20:00
会場	鶴丸会館（WEB併用）
内容	講演：「出水医療圏 脳卒中地域連携クリニカルパスの状況」（仮） 講師：出水郡医師会広域医療センター 脳神経外科 部長 細山 浩史先生 講演：「脳卒中診療の現状と挑戦 ～地域連携パスと Trans Radial Neurointervention が切り拓く未来～」 講師：済生会熊本病院 脳神経外科 副部長 加治 正知先生

承認。

2. 令和7年度出水市立・長島町立学校及び幼稚園等の学校医・園医等の推薦について 別添[資料3]参照

標記の件、出水市及び長島町より推薦依頼が来ており、現在の学校医及び園医に引き続きご依頼を差し上げ、回答期限までに変更の連絡がないため、現学校及び園医を推薦することをご承認願いたい。

原案通り承認。

3. 医師会ホームページについて

現在のホームページは医師会事務室で作成し、更新も当方で行っており、急な当番医や医療機関情報の変更にも随時対応可能であったが、作成者の退職に伴い、ホームページの更新に支障をきたしつつある。平成27年1月の理事会において新規作成のご承認を頂いております。3社に新規作成及び保守等の見積もりを行い一番安価な有限会社 Frida にお願いしたいので、ご了承願いたい。

会社名	金額	内容
有限会社 Frida ホームページ作成	591,800 円	デザイン・企画基本料[1] 165,000 円 トップページ[1] 55,000 円 サブページ[9] 118,800 円 医療機関登録等[57] 165,000 円 日曜当番医更新機能[1] 55,000 円 会員専用コンテンツ対応[1] 88,000 円 値引き -55,000 円
保守サービス	158,400 円	月額 13,200 円 × 12 か月

株式会社A R S ホームページ作成	984,500 円	ホームページ制作基本料[1] 220,000 円 トップ・デザイン[1] 110,000 円 サイト内ページ[9] 148,500 円 WordPress インストール[1] 110,000 円 医療機関登録画面作成[1] 110,000 円 医療機関登録等[57] 66,000 円 日曜当番医更新機能[1] 110,000 円 会員専用コンテンツ対応[1] 110,000 円
	220,000 円	月額 22,000 円 × 12 か月
アイ・エイ・ジエイ株式会社 ホームページ作成	770,000 円	WEB サイト作成基本料[1] 173,800 円 トップページデザイン[1] 33,000 円 個別ページ[9] 128,700 円 WordPress 設定[1] 110,000 円 WordPress 編集カスタマイズ[1] 110,000 円 医療機関インプット作業[57] 62,700 円 日曜当番医更新機能[1] 88,000 円 会員専用コンテンツ対応[1] 63,800 円
	198,000 円	月額 16,500 円 × 12 か月

有限会社 Frida にお願いすることで承認。

4. 令和 7 年度出水市母子健診計画の医師推薦について
別添[資料 4]参照
標記の件、出水市より医師の推薦依頼があり、現担当医師に確認を行いましたので、原案通り推薦することで、ご承認頂きたい。

原案通り承認。

5. その他

《協議事項》

1. 令和 6 年度中間決算報告について
事前配布資料参照
公益社団法人出水郡医師会の令和 6 年度上半期の中間決算について、税理法人メディカルビジネスの小林税理士より資料に基づいて説明します。
(1) 監査結果と事業報告の仕方
これから説明します令和 6 年度中間決算（6 年 4 月～9 月）の内容は、12 月 5 日、6 日に外部監査人である高橋雷太公認会計士の監査を受けた後、同じく 6 日に医師会の監事である、高野卓二先生、今村章先生、塚里孝和先生の監査を受けたものです。
医師会は大きな事業として広域医療センターと第二病院の運営を行い、その他看護学校を二つと法人本部の事業を行っています。広域医療センターと第二病院、看護学校の損益状況を説明し、それらを含んだ法人全体の損益状況と財政状態を以下順番で説明します。
(2) 広域医療センター
まず広域医療センターについてですが、11 頁の三期連続損益比較表を見てください。当月までの累計(C)が 6 年 4 月から 9 月までの当期の上半期の損益の累計です。当期

医業収益が 22 億 4,800 万円ですが、前期は 21 億 3,900 万円で、その差額は(C-B)ですが前期比 1 億 800 万円の増収になっています。その内訳として、入院収入が 1 億 1,700 万円の増収、室料差額 600 万円の増収で、外来収入は 1,300 万円の減収でトータル 1 億 800 万円の増収です。

今期の薬品や診療材料の材料費は 5 億 3,100 万円で前年比 1,900 万円増加し、対収益比は 23.6% で比率は 0.3 ポイント減少です。その内訳として薬品費は 2,100 万円減ですが、診療材料費は 4,000 万円の増加です。医業収益が増加しているため比率は下がっています。

給与費は退職給付費用、法定福利費を含めて 13 億 4,200 万円で前年比 3,100 万円増加ですが、収益比 59.7% となり、前期比 1.6 ポイント減です。

委託費は 400 万円増加し 2 億 800 万円で、対医業収益比 9.3% です。検査委託費は昨年に引き続き減少していますが、給食その他委託費が増加しています。

減価償却費 1 億 6,600 万円を含む設備関係費は 2 億 6,700 万円で、3,200 万円の減少です。うち減価償却費が 1,500 万円減少しています

研究研修費は 800 万円で昨年比 400 万円の増加です。

一般経費は、1 億 4,200 万円で前年比 200 万円の増加です。

医業費用合計 25 億 100 万円で医業収益が 22 億 4,800 万円でしたので、差引医業損益は 2 億 5,300 万円のマイナスになります。昨年は 3 億 3,200 万円のマイナスでしたので 7,900 万円赤字が減少しています。

その下、医業外収益には阿久根市からの公的病院運営費補助金 1 億 3,200 万円を新たに計上しています。昨年度はこの段階でコロナ補助金 2 億 900 万円ありましたが、今年度はありません。医業損益に医業外収益を加算し、医業外費用を控除して経常損益は 9,400 万円のマイナスです。昨年度に比べ赤字額が 1,500 万円増加しています。

(3) 第二病院

13 頁の三期連続損益計算書を見てください。半期の医業収益は当期 4 億 4,200 万円で前期 4 億 2,900 万円ですから 1,200 万円の増収です。医療病床及び介護医療院それぞれやや増収です。

薬品、診療材料の材料費は、2,900 万円で対医業収益比は 6.6% で前年比 0.4 ポイント減少です。

給与費は 3 億 1,800 万円で前期より 400 万円の増で対医業収益比 71.9% となって、前年比 1.1 ポイントの減ですが、まだ 70% 台です。

委託費は 5,000 万円で前年比 500 万円の増です。うち給食委託費が 400 万円増です。

設備関係費は減価償却費 1,800 万円を含んで 2,500 万円で前年比 200 万円の増です。

一般経費は 2,700 万円で前年比 200 万円の減少です。その結果医業損益は 900 万円のマイナスです。医業外損益を加味した経常損益は 300 万円のマイナスで、前期は 600 万円のマイナスでしたので、約 400 万円弱の赤字額が減少しています。

(4) 医師会事務室

経常収益 1,300 万円は昨年比 200 万円の減収です。

経常費用 3,300 万円は昨年比 150 万円増加です。

経常増減額はマイナス 2,000 万円は、マイナス 200 万円の増加です。

(5) 看護学校

経常収益が 1,260 万円で昨年比 470 万円の減収です。学生数の減少による校納収入の減少 学生定員 120 名に対して 9 月末在籍数 35 名です。

経常費用が 5,480 万円で昨年比 310 万円の増加です。経常増減額がマイナス 4,220 万円で、前年にくらべマイナス額が 770 万円増加しました。

(6) 准看護学校

経常収益が 560 万円で前年比 160 万円の減少です。 学生定員 64 名に対して 9 月末在籍数 18 名です。経常費用が 3,140 万円 前年比 120 万円増加です。

常増減額がマイナス 2,580 万円で、前年よりマイナス額が 280 万円増加です。

(7) 法人全体の損益状況

1～6 頁に貸借対照表と正味財産増減計算書を載せてあります。まず正味財産増減計算書ですが、一般の会社や医療法人の損益計算書に相当するものです。

大きな動きとして、昨年度のコロナ補助金等を含めた補助金収入は 2 億 3,000 万円でしたが、本期はコロナ補助金なしです。阿久根市からの公的病院運営費補助金 1 億 3,200 万円が本期から 3 年間の決定事項として始まりまして、その補助金を含めた補助金収入は 1 億 5,400 万円です。

経常収益計は 28 億 9,100 万円で、前期は 28 億 6,300 万円でしたので、2,800 万円の増収です。

経常費用のうち事業費では、前期比で材料費が 1,700 万円の増加、人件費が 4,300 万円の増加、委託費も 1,000 万円の増加、設備関係費が 3,000 万円減少しましたが、事業費は全体で 5,400 万円の増加です。管理費は 770 万円で前年比 20 万円の増加です。

経常費用計が当期 30 億 7,800 万円、前期 30 億 2,400 万円で 5,400 万円の増加でした。その結果当期経常増減額は 1 億 8,600 万円のマイナス、前期が 1 億 6,100 万円のマイナスでしたので前期に比べると経常増減額が 2,500 万円減少しています。

その分の損益が悪化していることになります。

2 経常外増減の部以降は、資金の内部振替や会計区分間の繰入、繰出しの損益に關係ない項目がありますので、単年度の損益状況は経常増減額で判断することになります。

(8) 法人全体の財政状態

1 ページの貸借対照表を見てください。前期残高と比較して大きく動いた項目として、現金預金が 19 億 300 万円となり、前期は 22 億 5,400 万円でしたので 3 億 5,100 万円の減少です。

銀行借入は、流動負債の部に短期借入金 3 億円と 1 年内返済予定長期借入金 1 億 5,400 万円、固定負債に 10 億 3,900 万円あり、合計で 14 億 9,300 万円の残高です。

1 年前は 16 億 2,600 万円でしたので、1 億 3,200 万円減少しています。

借入金の返済計画表を 9 頁に載せてあります。

以上の結果、令和 6 年 9 月 30 日現在の正味財産は 31 億 5,000 万円となり、これを資産の部合計 71 億 3,400 万円で除した割合=自己資本比率といいますが、44.1%です。1 年前は 47.1% ですから 3 ポイント悪化しています。

以上、公益社団法人出水郡医師会の令和 6 年度上半期中間決算報告とさせていただきます。

(黒木副会長) ありがとうございました。何かご質問はないですか。年度末の会計報告の時でいいが増えた部分の原因が何処になるのかそこを教えて欲しい。

(小林税理士) 資産が減った原因でしょうか。

(黒木副会長) 例えば、経費の何処が上がって、何で上がっているのかとか。そのあたりが皆さん知りたいのではないか。何処に原因があったのか。減らせるのか減らせないのか。固定費で変わらないならどうしようもないが。

(小林税理士) わかりました。

(黒木副会長) これは、半期で 5 億円のマイナスという事で 1 年で 10 億円のマイナスになるということか。

(小林税理士) 前半期が一番動きが大きかった。これがずっと続くわけではない。

(黒木副会長) 半期で 5 億円のマイナスならあと 2 億円位出る可能性があるということか。第二病院の給与費が 71% なのは前からか。

(小林税理士) 前は、利益が出ていたときは、60% 位だった。他の経費もあるから利益は出ない。急性期は 50% 位、療養病床とか慢性期は、70% いったら利益

は出ない。

(黒木副会長) 外部委託の給与は、いくらくらいか。看護師の人材派遣。

(來仙会長) 最初だけ仲介料が発生する。

(尾上部長) 初回で終わるだけである。

(黒木副会長) 改善の余地が何処にあるのか。経費削減?

(小林税理士) 7割・6割を占めている人件費をどうにかしないと難しい。

(黒木副会長) 他産業との人材流失を考えると人件費は触れない。

(小林税理士) 同じ病院間で比較してその傾向はある。民間の医療法人とかを見ているが高目だと思う。

(黒木副会長) 元々の設定が高い。県医師会も給与規定とかの見直しをしているが、急には出来ないので、今の給与は保証してあげて将来の改革をして行かないといけない時期である。県の医師会も舵を切り出す。例えば、ボーナスの基準とかそういうところも考え直さなければいけない。何故かというとこここの広域も行政との比較で金額を出しているところがある。人事勧告に沿っていろいろ決めている。元々のベースが高い。ただ人の給与だから中々触りづらい。だから今の賃金は確保してあげて、今後の将来のことを考えないといけない。そのあたりも先生方から提案して頂けたら、彼たちも自分たちのこととなるので出しづらいと思う。

(來仙会長) 令和5年度までは、コロナの空床補償という大きな補助金があったから今年は、それが無くなつて、凄い谷が出来ることは元々わかっていた。でも数字的に見て収益は少しずつ上がっているわけだから、これを更に上積みして経費を絞って、後、これから補助金を引っ張ってくるかという、3本柱で考えていけば、そんなに悲観的な数字じゃないのかなと個人的には思っている。

(黒木副会長) よろしかったでしょうか皆さん。ありがとうございました。

了承。

2. 令和7年度公益社団法人出水郡医師会事業計画（案）について

標記の件、12月理事会にてご協議頂き、持ち帰ってご意見があれば1月理事会までに医師会事務室へご連絡頂くこととなつたが、修正等ご意見は、ありませんでした。

原案通り了承。

3. 令和6年度公益社団法人出水郡医師会一次補正予算（案）について

標記の件、12月理事会にてご協議頂き、持ち帰ってご意見があれば1月理事会までに医師会事務室へご連絡頂くこととなつたが、修正等ご意見は、ありませんでした。

原案通り了承。

4. 令和6年度後期高齢者の適正服薬支援事業に係る調査への御協力について

別添[資料5]参照

標記の件、鹿児島県後期高齢者医療広域連合より別紙のとおり、調査依頼が来ておりますので、ご協議願いたい。

現状のままで、今後問題があれば、話し合うことで了承。

5. 2月・3月の理事会開催日について

標記の件、2月の第二火曜日 11 日が建国記念の日で祝日である。また、3月 11 日(火)は、令和 6 年度鹿児島県医師会医療安全対策研修会を第二病院で中継する予定であるので、2月・3月の理事会開催日についてご協議願いたい。

2月理事会を2月 10 日(月)に3月理事会を3月 12 日(水)に行うことで了承。

6. 川薩保健所感染症診査協議会(結核部会)委員の推薦について

標記の件、川薩保健所より任期満了に伴う委員の推薦依頼が来ておりますので、ご協議願いたい。なお、現委員は、來仙会長である。任期は、令和 7 年 4 月 1 日より令和 9 年 3 月 31 日の 2 年間である。

來仙会長を推薦することで了承。

7. 次期(2026 年度)診療報酬改定にかかる要望事項等について

別添[資料 6]参照

標記の件、大分県医師会より鹿児島県医師会を通じて意見の取り纏め依頼があり、会員医療機関にアンケートを行い、別紙の通り回答があつたので、ご協議願いたい。

回答があつた 4 医療機関のものをまとめて回答することで了承。

8. その他

1) 出水総合医療センターとの打ち合わせについて

内匠理事

出水総合医療センターの花田院長と出水総合の経営コンサルタント会社の方と話し合いを行つた。現状で何か決まるわけではないが広域医療センターの厳しい現状をコンサルタント会社の方にお伝えしたところ、アドバイスとして医師確保対策の名目で自治体から子電子カルテの補助金を半額頂いたところがあるようで当院も電子カルテや先月お話したロボットの導入やカテーテルの装置の保守がきれるということ。

グーグルの当院の書き込みにも市から補助金を貰つているので、一度会計報告をしたらどうかと書き込みもあつた。現状の厳しい状況を住民向け、市長向け議会向け等に講師を招いて全国的に地域医療の状況が厳しいことの講演をして頂いた後に、当院の状況を説明して対策を話し合う場を設けることを計画してどうかと考えている。

(黒木副会長) 市民向けではなく、議会向けが良い。

(來仙会長) 演者は、どなたかイメージがあるのか。

(内匠理事) 先程のコンサルタント会社からは城西大学の伊関先生を紹介された。

(黒木副会長) 日医総研に相談してもいい。来てもらってもいい。

(内匠理事) どなたでも差し支えない。地域の現状をここだけではなく、全国どこでも公的病院は市からの補助がないと運営が成り立たないことを市議の方々にご理解頂きたい。

(黒木副会長) 市議が良い。議会に言わないといけない。議長にまず相談しに行く。

(來仙会長) 今誰が議長ですか。仮屋園さんじゃないか。

(黒木副会長) 仮屋園さんなら知り合いなので相談に行く。会長入れて話し合いましょう。

(内匠理事) 将来的に出水総合と合併となると阿久根市にも補助金を出して頂かなければいけないので、現状をご理解頂く必要となる。

- (黒木副会長) 来週、日医行ってきますから、良ければ日医総研に相談してきます。
(内匠理事) 頂いた資料は、城西大学の伊関先生です。
(黒木副会長) 大学の経済学者でしょ。
(内匠理事) 私は、面識がない。
(黒木副会長) 資料を頂けたら、日医総研で確認してくる。
他にご意見ないですか。

令和7年1月14日

(出席された理事・監事全員にご署名・押印いただくことになります。)

会長	印
副会長	印
副会長	印
理事	印
監事	印

次回理事会 … 令和 7 年 2 月 10 日 (月) 19 : 30 ~ 予定